

うみまる・うーみんの 海保のツウになろう!

音楽隊員のうみまる&うーみん



うみまるが担当する
楽器はサクソフォン、
うーみんが担当するのは
クラリネットです♪

第3回:「海上保安庁音楽隊」のはなし

海上保安庁音楽隊は「音楽の演奏を通じて国民との融和を図り、海上保安庁の広報活動の効果を高めるとともに、職員の高揚を図ること」を目的として活動しています。海上保安庁の式典や今年で18回目を迎える定期演奏会、その他、国家的行事や国土交通関係イベント、海の日に開催されるイベントなど多方面で演奏を行っています。

海上保安庁音楽隊は、海上保安庁が発足して間もない昭和26年3月に設置されましたが、昭和27年に海上保安庁の付属機関として新たに「海上警備隊」が設置された際に、音楽隊は「海上警備隊」所屬となりました。その後、組織改編に追隨するように変遷を続け、現在の「海上自衛隊音楽隊」に引き継がれています。

海上警備隊へ移管されて以来、海上保安庁には音楽隊がありませんでした。しかし、幾度にもわたる音楽隊設立に向けた検討とその機運の高まりにより、昭和63年4月の創立40周年を契機に、長年の悲願ともいっべき「海

上保安庁音楽隊」が37年ぶりに再結成され、現在に至ります。

隊員は全員海でのレスキュー活動や海上犯罪の捜査、海洋調査、灯台の運用などの現場の第一線で活躍している海上保安官の中から選抜されます。任期中は本庁などで他の職員と同様にさまざまな分野の海上保安業務を行いながら、練習や演奏活動を行い、任期が終わると再び現場へと戻っていきます。

海上保安庁音楽隊は、国民の皆さまと海上保安庁との架け橋となるべく、常に親しみやすく温かみのある音楽を心がけ、日々、練習に励んでいます。



海上保安庁 観開式及び総合訓練で演奏

海上保安庁音楽隊隊長の東(ひがし)です。音楽隊隊員は私を含め29名で、皆、全国各地の巡視船艇や地方部署の現場で活躍してきた海上保安官です。演奏を通じ、皆さまに海上保安庁を身近に感じていただき、共に音楽を楽しんでいただけますよう日々練習に励んでおります。各地の演奏会で皆さまにお会いできることを、隊員一同楽しみにしております。



海の「もしも」は118番

海でもし事故があったら「118」番に電話してね!



海上保安庁音楽隊からのお知らせ

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/syoukai/soshiki/soumu/band/index.html>